

心のケアにアート

大原美術館とAMD A協定 被災地で教室や鑑賞

大原美術館（倉敷市中央）を運営する大原芸術財団（同所）と国際医療ボランティアAMD A（岡山市北区伊福町）は19日、被災地

などでアートを活用し心をケアするための包括連携協定を結んだ。不安を抱える被災者や、災害現場で活動する医療従事者の健康維

持につなげる。

財団職員が被災地に出向いて子どもを対象に絵画教室を開いたり、現場の医師や看護師を大原美術館に招



協定書を手にする大原代表理事（左）と佐藤理事長

き、作品鑑賞でストレスを和らげたりすることとを想定している。詳細は今後詰める。

倉敷市内で締結式があり、財団の大原あかね代表理事とAMD Aの佐藤拓史理事長が協定書に署名。大原代表理事は「医療によって救われた命が希望を持って生きられるよう背中を押したい」、佐藤理事長は「被災者の苦しみは言葉で表せないほど大きい。芸術の力を借りて心を癒やす場を提供できれば」と話した。（小野祐香）